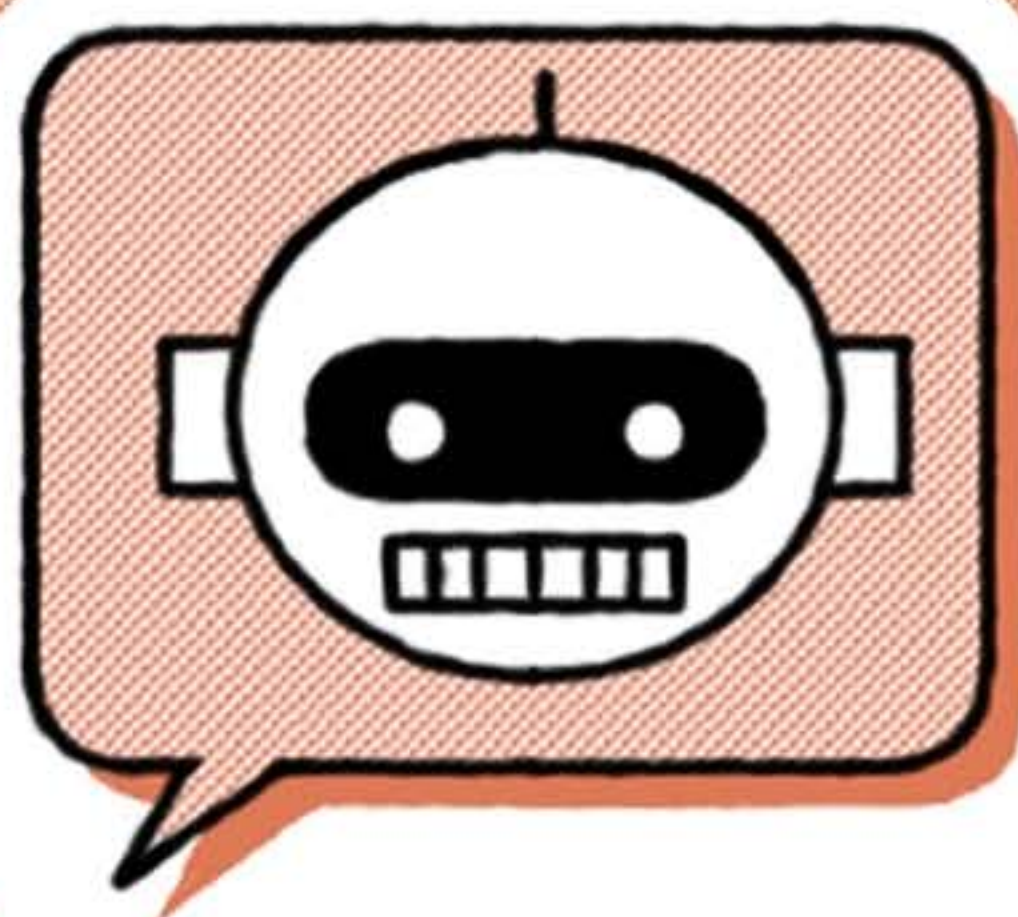


「噂の跡を追って」—— 役立つボット



2016年、台湾でLGBTQ+コミュニティに関するうわさや嘘が瞬く間に拡散され始めました。



信頼できる公共言論環境を築くため、ふたりはオンライン・ファクトチェック・プラットフォーム「Cofacts」を立ち上げました。

コンテンツをシェアしたい気持ちは誰にでもあります。

衝撃的な内容ほど、シェアしたくなるものかもしれません。



しかし、その真偽を知る方法は？



特に選挙の時期には、差し迫った社会問題に関するデマや誤解を招くような情報が増す傾向にあり、人々の混乱や分断を招くことさえあります。



だからこそ、Cofactsチャットボットを開発しました

その機能をご紹介します



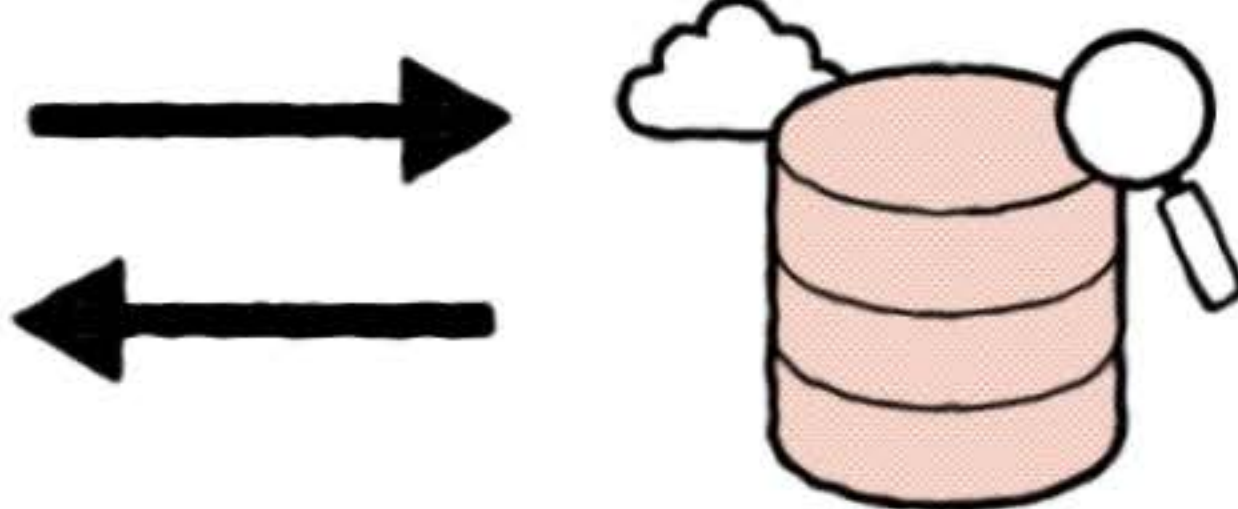
LINEで不確かな情報を目にしたら…



(1)Cofactsボットにその情報を転送できます。



(2)Cofactsボットが独自のデータベースを検索して情報を検証し、結果を返します。

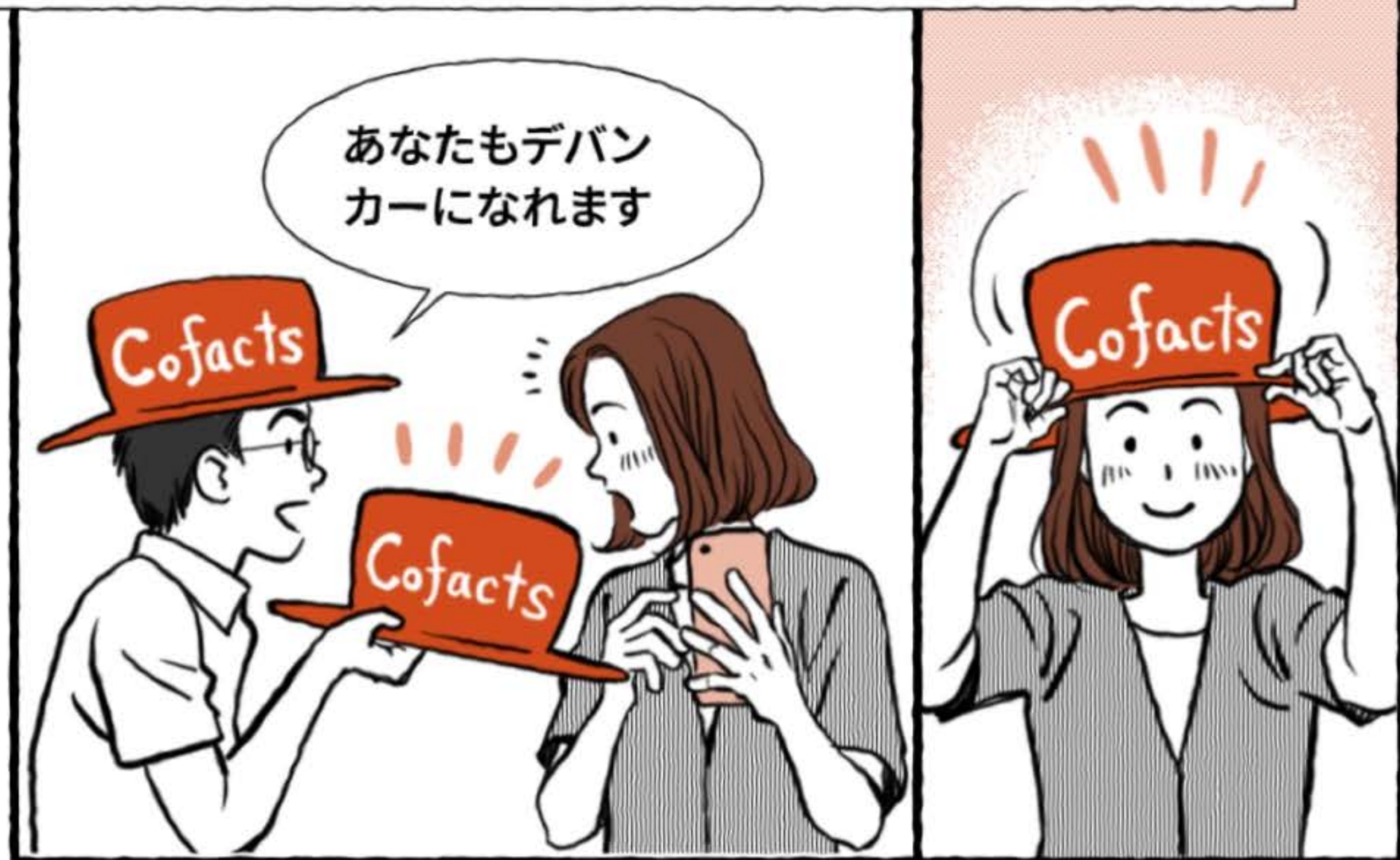


(3)データベースに十分なデータがない場合は、ボランティアに送信されます。ボランティアがファクトチェックを行い、検証済みの詳細情報を入力します。



(4)場合によっては複数の回答候補が提示されることがあります。それらの回答を明確さ、有用性、信憑性の観点から評価して頂き、データベースによる最適な回答の判定精度向上にご協力ください。

私たちが受け取り、発信する
コンテンツへの批判的思考を高めることが、
Cofactsの願いです



Cofactsのソースコードは公開されています

誰でもそのコードを使って、LINEなどのメッセージ・アプリに
対応した独自のチャットボットをプログラミングできます。



これらの数字から、Cofactsのシステムはとても成功していると思われるかもしれませんが

1,000～アクティブ・ユーザー/日
14,000～チャットボットによる回答件数/月
50,000～データベースの登録件数

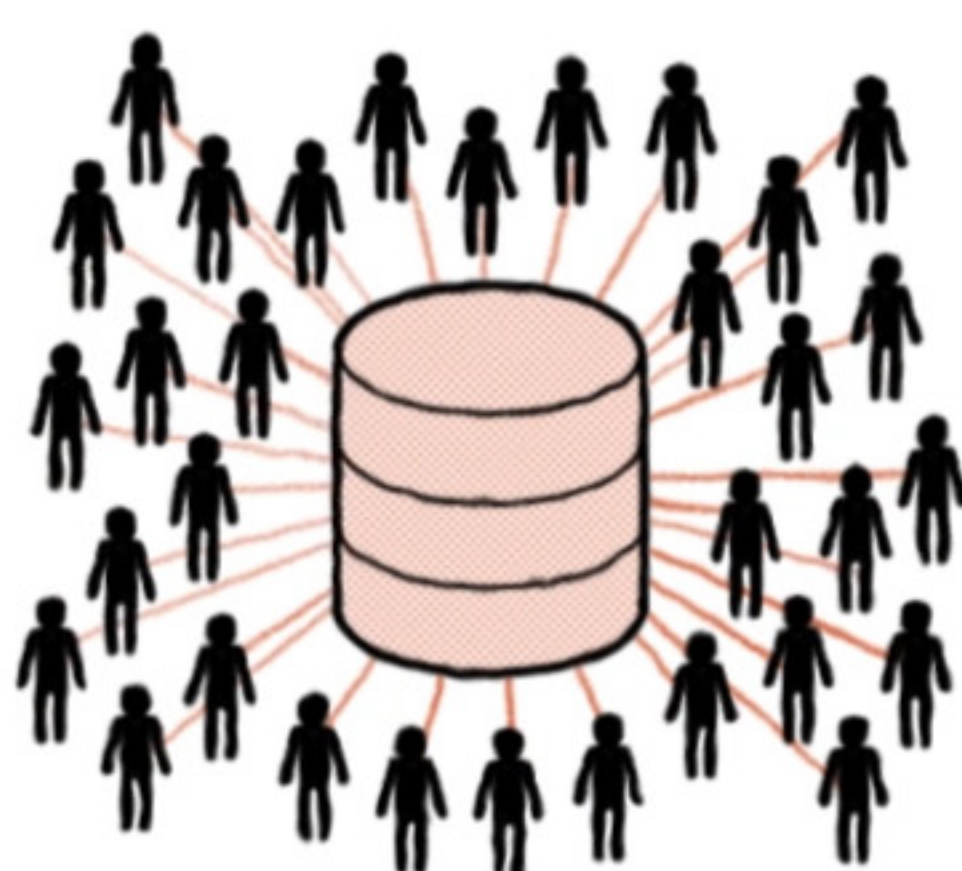
(2023)

しかし、課題もいくつかあります

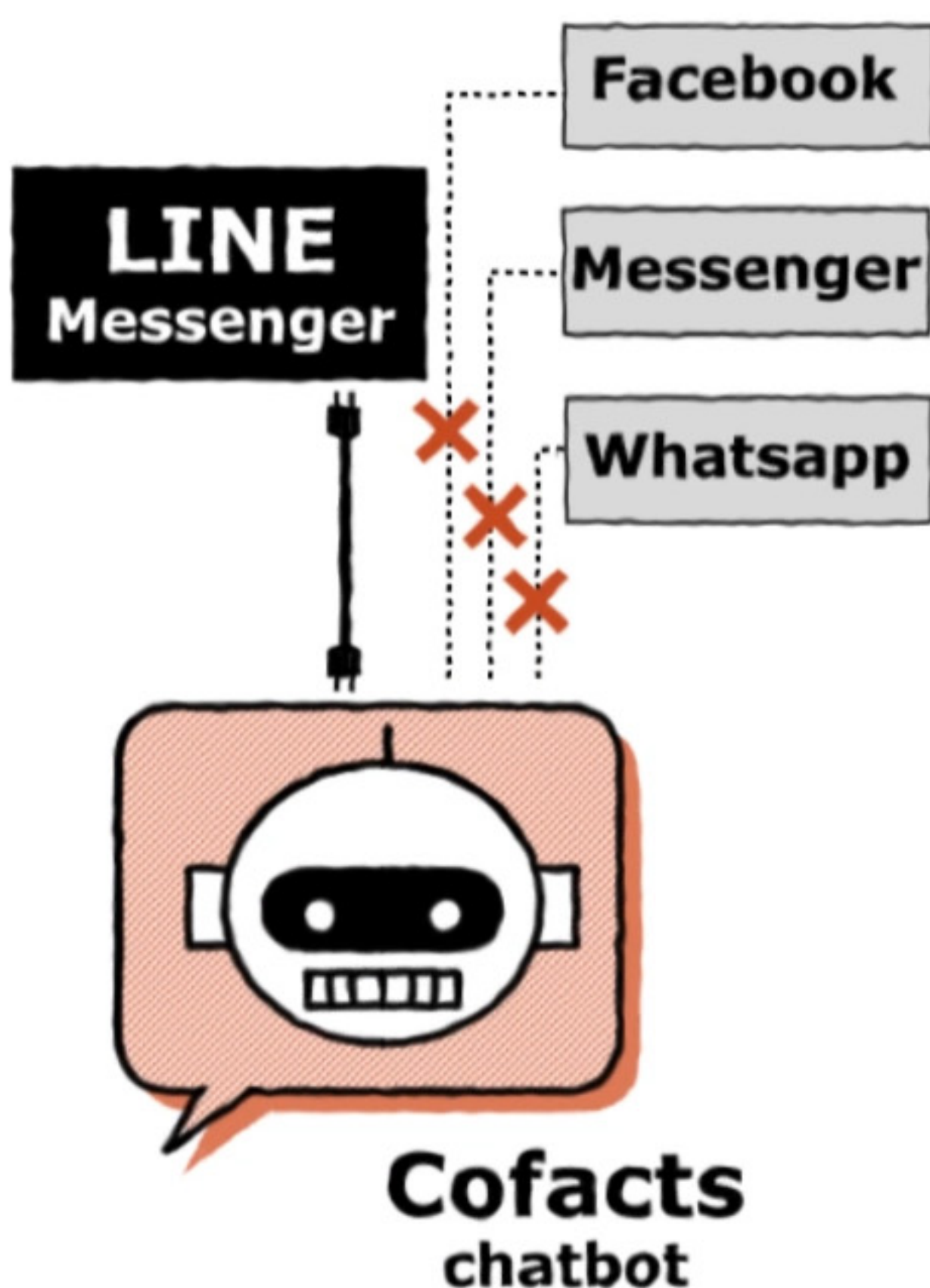
Cofactsのファクトチェック・コミュニティには誰でも参加できます。

そして、その集合知こそが、このチャットボットのデータベースを支えています。

しかし、「誰でも検証できるなら、誰でも情報を改ざンできる」と、信憑性を問題視する声もあります。

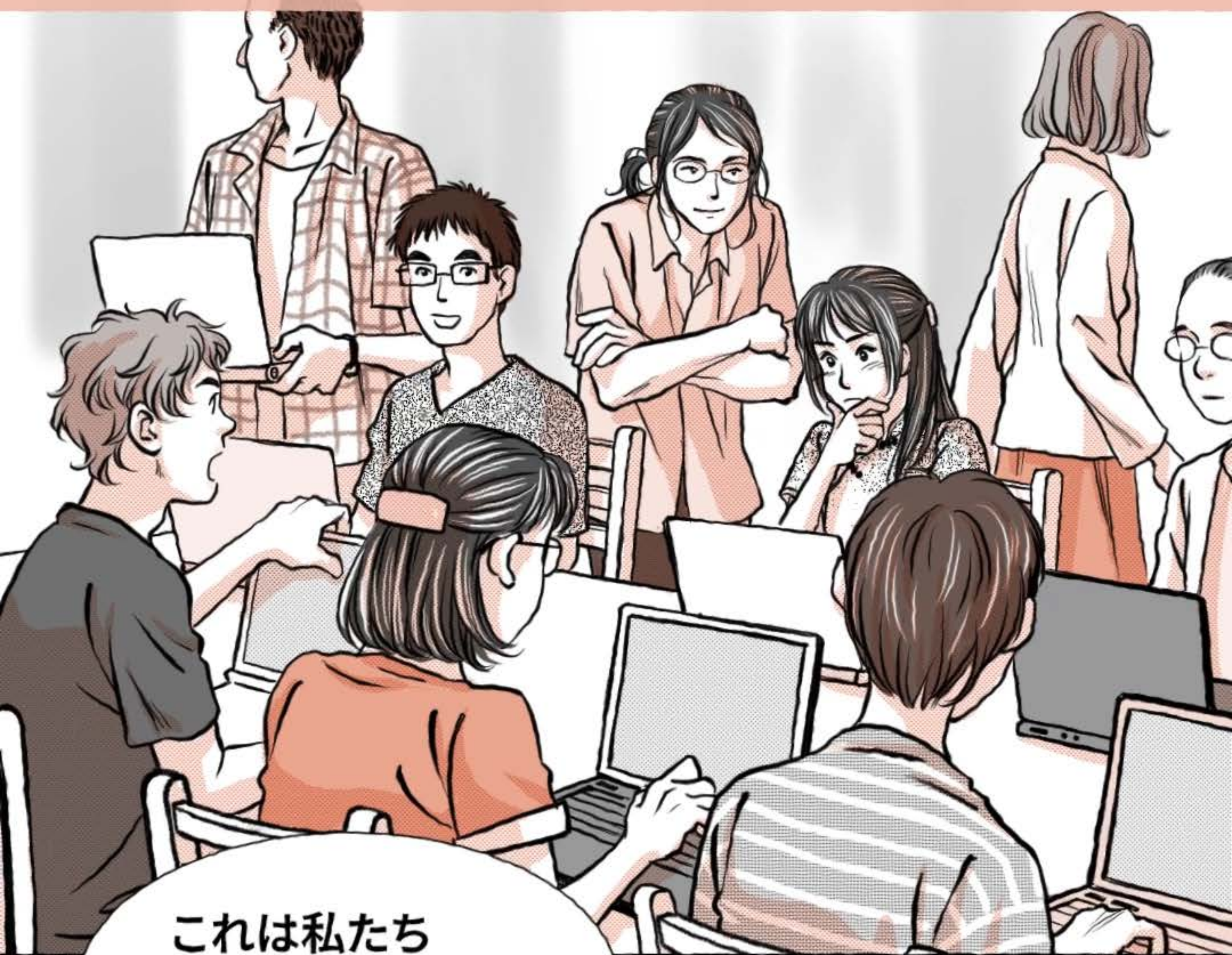


本当に信頼できるのか?



他にも、プラットフォームへのアクセスに依存するツールに共通のリスクとして、プラットフォーム提供者のアクセス・ルールに左右されるという点が挙げられます。例えば、非常に高額なコストや突然の変更などです。

Cofactsでは今後も、対話を促進すること、
そして社会全体の信頼回復に貢献することを
モットーに活動を続けていきます。



これは私たち
一人ひとりの
ための社会運動です

あなたにもきっと
できるはず!



噂の跡を追って

検索



**GOETHE
INSTITUT**